

オートキャンプ場経営研究会 2020 実施レポート抜粋

【日時】：2020年2月25日～26日

【場所】：国立オリンピック記念青少年総合センター

【参加者】：19団体30名（事務局含む）

- ・ 札内川園地キャンプ場（北海道）
- ・ 羽鳥湖畔オートキャンプ場（福島県）
- ・ エンゼルフォレスト那須白河（福島県）
- ・ 日光だいや川公園（栃木県）
- ・ 太陽の丘キャンプ場（栃木県）
- ・ 北軽井沢スウィートグラス（群馬県）
- ・ ケニーズファミリービレッジ（埼玉県）
- ・ 有野実苑オートキャンプ場（千葉県）
- ・ 九十九里浜シーサイドオートキャンプ場（千葉県）
- ・ スペースキー（東京都）
- ・ ウエストリバーオートキャンプ場（山梨県）
- ・ 竜洋海洋公園オートキャンプ場（静岡県）
- ・ ならここの里（静岡県）
- ・ 青川峡キャンピングパーク（三重県）
- ・ マイアミ浜オートキャンプ場（滋賀県）
- ・ 三瓶山北の原オートキャンプ場（島根県）
- ・ 備北オートビレッジ（広島県）
- ・ 小豆島ふるさと村キャンプ場（香川県）

<協会会長あいさつ>

今後は事務局としてコンサルテーション事業を広げていく予定。

受けることはもちろん、アドバイスする側としてキャンプ場会員の皆様にもご協力いただけるようお願いしたい。

<2019年の振り返りと2020年の見通し>

・ 札内川園地キャンプ場

昨年傾向：ヒグマ出現でソロキャンプ減少。ファミリー、手ぶらキャンプは良好。

冬キャンプ：幌尻スノーピークキャンプ場人気。テントサウナも人気。

英語に対応できないためインバウンド取りこぼし。

フリーサイト無料(条例で決められている)継続：対価と管理責任が必要では。

今年計画：HP 充実、パンフレットリニューアル、スノーピーク「住箱」導入計画

・ 羽鳥湖畔オートキャンプ場

昨年傾向：10連休良好。6、7月雨の影響で苦戦。9、10月台風の影響大で減少。

今年見通：暖冬のため早めの営業開始検討。

・ エンゼルフォレスト那須白河

昨年傾向：6、7月猛暑と雨の長期化影響。アブ被害。冬：暖冬影響。客層の変化。

ソロとファミリー、ビギナーの増加。レンタル品需要大。「できてるキャンプ」

ツールームテントの人気良好。

今年計画：好評につき常設サイト拡充予定。ドックフリーサイト拡充予定。

・ フォンテーヌの森

昨年傾向：台風影響なし、むしろ影響あったところから利用者が移ってきた。

バーベキューの売上良好(団体予約など)

今年計画：敷地拡大予定(オートサイト50→70、オリンピック期までには)

フロント、予約の合理化。直近のコロナウィルスが気になる。

・ 日光だいや川公園

昨年傾向：6、7月雨の影響で集客ダウン。10月台風被害で閉園。冬1、2月売上伸長。

スキー等の冬のアクティビティができない分がキャンプに流れているのでは。

初心者・家族ターゲットでレンタル品売上伸びている。

今年見通：イベント強化でキャンプ場利用者向けを強化

※コロナウィルスによっては実施見通し不明

BBQセットの販売。

行政と民間での連携強化（昨年、星空キャンプが好評）
トレーラーハウスを取り壊してロッジを建設。

・太陽の丘キャンプ場

昨年傾向：年々1割増加傾向。11月、12月の伸び、ソロや大人2人組が特に増加。
今年見通し：森林がウリだが、近年台風で老木の倒木が懸念材料。
繁忙期以外の土日を満員にする。
昔ながらのやり方を業務効率化。

・北軽井沢スイートグラス

昨年傾向：夏冬ともに増加傾向。冬は利用者の知識レベルも上がっている様子。
レンタル品は減少傾向。暖冬雪がとけヌカミ対策が必要だった。
浅間山噴火影響は少ない。猛暑の影響もすくない。（エアコン導入せず）
今年計画：コテージ4棟新設、レストラン、物販強化、人件費削減

・ケニーズファミリービレッジ+古民家ファミリービレッジ

昨年傾向：台風19号入間川源流で施設半分が流される。テントサイト崩落
機会損失600万円、施設復旧800万円、補助金：国から2/3(100万円)、
県から3/4(300万円)を受ける。※約5年毎年報告必要。
メンタルショックは少ない。自然災害という面でやむを得ない。
今年計画：社員採用でオペレーション強化、賃金も上げて人材確保。
HPリニューアル：スマホ対応、ブランディング、顧客・求人獲得・取引先開拓
サイト拡張。

・有野実苑オートキャンプ場

昨年傾向：台風15号風害、倒木10人で5日間復旧に要する。停電の影響。
携帯電話の電波塔も蓄電が切れ通話できず。発電機に助けられる。
水道も発電設備で救われた。その他レストランは冷蔵庫が使えず。
近隣地区で電源が復旧する中、周囲から取り残されたのは厳しかった。
インバウンド需要増：成田が近いと、飛び込みの外国人利用分が多い。
今年計画：施設計画はなく、秋冬をどうプロモートしていくか計画
(いちご狩り&キャンプetc)

・九十九里浜シーサイドオートキャンプ場

今年計画：オリンピック関連（サーフィン会場近いため）の需要増
より運営を合理化して自分がどうラクをしていくかで考えていく。

・スペースキー

昨年実績：好調要因（上期）：冬場（ソロキャンプ、グランピング）、GW 特需、
不調要因（下期）：7、8月週末雨天続く、9、10月台風被害、
今年見通し：1、2月好調、4月連休ないので予約が落ち込んでいる傾向。
7月は昨年より1週早い予約進捗。
一方、8月は昨年に対して1週遅い予約進捗。

・ウエストリバーオートキャンプ場

昨年事項：災害による休業保証・施設賠償：150万円がおりた。（年間掛け金：66,600円）
東京海上・超ビジネス保険、必要なものだけピックアップできるタイプ
保証額は前年比との減少歩合で設定できる。
今年計画：未就学児童対応ロッジを強化。（遊具、安全性、囲いなどを強化）
冬季営業検討（凍結対策）、BBQ 運営体制の見直し

・竜洋海洋公園オートキャンプ場

今年計画：昨夏の不調に反して、冬好調。暖冬の影響。
冬キャンプ、ラグビーWカップで盛況
満サイト。客層には母&子というパターンもあった。
モグラ・台風対策。CM、番組撮影誘致。
昆虫食&キャンプ体験を企画予定

・ならこの里

昨年実績：冬キャンプ盛況、バンガローよりテントサイト
平日ソロキャンプも毎日のように来客。11月～2月も好調。
温泉併設も功を奏している。薪の販売が好調、1日70束。焚き火を楽しむ
傾向が強い。土砂崩れで道路寸断 100万円の損失。自然災害被害は常につい
て回ってくる。注意報・警報でキャンセルフリーにしている。
今年計画：HPリニューアル（ネット予約導入、新規ユーザー獲得）
安心・安全な環境設備（老朽化対策、バンガローで稼働拡大）
従業員処遇改善
収益構造の見直し（条例改正もふくめ）

・青川峡キャンピングパーク

昨年実績：クレジット決済が急速に拡大。

台風で2回休業あったが冬の伸びが好調。

外国人団体の需要増大：4月～6月 成田でキャンピングカーを借りて来る。

今年計画：HPリニューアル（スマホ対応）

災害対策、酷暑対策、被災時の影響をどうカバーするかを考えていきたい。

・マイアミ浜オートキャンプ場

昨年実績：一昨年比較では良好。インバウンド団体需要拡大：4月～6月

今年計画：年間を通して週末満員、今後需要対応に敷地拡充か、平日稼働を検討。

平日稼働強化はソロキャンパーや女性にも安心して使えるキャンプ場として売り出していく

・三瓶山北の原オートキャンプ場

昨年実績：冬はキャビンのみ。今期、雪不足で集客に苦労。

一昨年豪雨災害。熊騒動（人害はない）。今年も繁忙期の休園3,4回あり。

人（来客）が入っていることがイノシシ除けになる。

今年計画：（夏の暑さが原因で）団体客減少の見込み→個人ターゲットにシフト

SNS情報発信強化、

野外イベント（屋外上映会、星空体験、ドイツパンとのコラボなど）

・備北オートビレッジ

昨年実績：野良猫。鳥の被害あり。

今年計画：施設老朽化のケアを強化。旅行者ルートの中継地点として集客動線強化。

利用者のマナー問題を改善していきたい。

・小豆島ふるさと村キャンプ場

昨年実績：GW過去最高、7月低迷（猛暑影響）、8月例年並み

今年計画：イベント実施継続。鳥獣対策。

<事前アンケートからのディスカッション>

■新型コロナウイルス対応

アルコール消毒設置対応、チェックイン時に体調確認、体温計設置、利用者の記録を残して置くことは重要。スタッフ間で情報・対応を共有。新型コロナウイルス影響による申し込み状況は現状大きな動きなし。
(今後はメディアの取り上げ方、政府の今後の方針次第)

■人手不足・人材確保方法

複数の関係施設と連携して合同で採用活動を実施。
Uターン・Iターンの情報を行政から得られるようにする。
新卒採用にインターン制を導入。

地域活性、産学連携もふくめ、夏期がインターン期間に重なる学校もある
労力補充では期待とのギャップもあるので注意が必要。

障害者雇用・職業体験としての受け入れも実施。

繁忙期：民間派遣会社の人材活用も (1,5000 円/時間)

学生の友人紹介繋がりよい (リーダーになる人物がいるとスムーズに集まる)
シルバー人材センター活用 (猛暑だと体力の面から活用が困難)
人材不足のなかでも 65 歳以上の応募 (働きたい方) は多いので、
どう活用していくかをしっかり考えれば、有効に活かせる。
マニュアルを作成、業務を覚えやすい環境を整えている。
イベントなどは動画を活用して初めてのアルバイトにも雰囲気を与えている。
履歴書不要の面接は応募者も気楽に応募してくれ、不採用でも書類返却が不要。

スタッフの有給休暇取得

有給取得消化を強制するか、自主性に任せるか、難しい課題。
キャンプ場 (施設) 自体を休みにして、一斉に有給休暇でとってもらう方法もあり。
公営だと、条例で決まっているため、それに従わざるを得ない。

■予約・キャンセル対応

過剰予約・過剰キャンセルの悪質なユーザーが少数存在。
事前のオンラインカード決済にするとキャンセル抑制効果あり。
オンライン決済のみのキャンプ場も着実に増加 (業務効率化を含め)
一定の同時連続予約に対しては利用者の選択権利と考える (予約サイト運営側)
悪質ユーザーには少額請求訴訟で相手に圧力をかけることも対応手段の一つ。

以上